

県営横根赤岩地区土地改良事業計画書

(農業用排水施設の変更)

長野県

第1章 目的	1	4 計画用水量	25
第2章 地域及び地積	2	5 水源計画	25
第1節 地域	2	第5章 主要工事計画	27
第2節 地積	2	第1節 用水施設	27
第3章 現況	3	1 貯水池	27
第1節 気象	3	2 頭首工	27
1 一般気象	3	3 揚水機	27
2 特殊気象	4	4 用水路	27
第2節 土地状況	5	第6章 附帯工事計画	28
1 地形、土壌及び侵食の程度	5	第7章 工事の着手及び完了の予定時期	28
2 土地分類	5	第8章 環境との調和への配慮	29
3 土地利用の状況	6	第9章 換地計画の概要	30
4 土地所有の状況	7	第10章 事業費の総額及び内訳	30
第3節 水利状況	8	第11章 効用	31
1 用水状況	8	第12章 関連する事業	32
2 排水状況	11	第13章 現況・計画図面	32
3 河川状況	11	1 現況平面図	32
第4節 道路現況	12	2 計画平面図及び土地利用計画図	32
1 道路概況	12	3 主要構造図	32
第5節 地域農業の概況	13		
1 産業別就業人口	13		
2 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数	14		
3 動力農機具及び主要家畜頭数	15		
4 主要作物作付状況	16		
5 農業の動向	17		
第6節 地域環境の概況	18		
第4章 一般計画	19		
第1節 事業計画の要旨	19		
1 要旨	19		
2 事業別面積	19		
第2節 営農計画及び土地利用計画	20		
1 営農計画の概要	20		
2 土地利用区分	20		
3 作付方式	21		
4 生産計画	22		
第3節 用水計画	23		
1 計画基準年	23		
2 計画かんがい方式	23		
3 計画用水系統図	24		

第1章 目的

本地区は、佐久市北東部に位置し、一級河川湯川から取水して受益地31.9haに用水を供給する農業用水路である。受益地で栽培されている作物は主に水稻であり、地域農業を継続していくために必要不可欠な水路である。

当該水路は大部分が開渠で、一部に素掘り隧道が存在する。素掘り隧道は江戸時代中期に開削されて以降、開削当時のままの状態で使用してきたが、近年、隧道内に崩壊が確認されるなど早急な改修が必要である。

また、時代の変化に伴って隧道地上部に住宅や送電塔が建設されており、大規模地震や大雨によって隧道の落盤が生じた場合には、隧道地上部の陥没に伴う住宅等への甚大な被害も想定される。

このため、既存の素掘り隧道を閉塞し、新たな隧道を設けることで、地域住民の生命及び財産並びに社会インフラへの被害を未然に防止するとともに、安定的な地域農業の維持を目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農業用排水施設の変更	長野県佐久市

第2節 地積

(令和7年12月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用排水施設の変更	佐久市	31.9	—	—	—	—	31.9	
	計	31.9	—	—	—	—	31.9	
合計		31.9	—	—	—	—	31.9	

第3章 現況

第1節 気象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	長野気象台 佐久地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	昭和51年～令和6年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		19.9	4.3	10.8	観測年数=48年
降水量	平均 (mm)	623.8	332.5	956.3	(用水計画基準年 昭和54年)
	基準年 (mm)	588.0	615.5	1203.5	
降水日数	平均 (日)	59	46	105	(用水計画基準年 昭和54年)
	基準年 (日)	69	53	122	
根雪期間		11月17日 ～ 4月17日 152日間			
無霜期間		5月8日 ～ 10月17日 163日間			
最多風向		WNW	最大風速 (風向)	9.4m/s (WNW)	最多風向発生時期 11月～3月 最大風速発生年月日 平成29年10月23日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
長野気象台 佐久地域気象観測所																
観測期間 昭和51年～令和7年																
最大日雨量 (mm)	303.5	R1. 10. 12	1/180	205	H11. 8. 14	1/39	160	S57. 9. 12	1/17	158	H19. 9. 6	1/16	140	H16. 10. 20	1/11	
最大連続雨量 (mm)	311.5	R1. 10. 3～ R1. 10. 12	1/49	298	H18. 7. 15～ H18. 7. 21	1/40	255	S57. 9. 2～ S57. 9. 12	1/20	231	R3. 8. 13～ R3. 8. 19	1/14	220	H19. 9. 3～ H19. 9. 7	1/11	
最大連続干天日数 (日)	93	H10. 12. 6～ H11. 3. 8	1/114	83	H15. 12. 1～ H16. 2. 21	1/47	72	R4. 11. 30～ R5. 2. 9	1/18	68	S56. 11. 28～ S57. 2. 3	1/13	63	R2. 11. 21～ R3. 1. 22	1/8	

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

[地形]

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考
		1/1,000未満	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°未満	3°～8°	8°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
農業用排水施設の変更	面積 (ha)		31.9				31.9							708	703	
	比率 (%)		100.0				100.0									

[土壌]

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表								面積(ha)				備考
	土壌断面								事業名				
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 及びグライ層	農業用排水施設の変更			計	
					表土	下層土							
一層					二層	三層							
御代田統(M-2)	10YR2/3 10YR4/4	すこぶる富む 富む	なし	あり	シルト質 埴土	シルト質 埴土	壤土	なし	31.9			31.9	
計									31.9			31.9	

[侵食の程度]

該当なし

2 土地分類

該当なし

3 土地利用の状況

(令和7年12月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用 区分 市町村名	耕地							採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	小計						
農業用排水 施設の変更	佐久市	31.9	—	—	—	—	—	31.9	—	—	—	—	31.9	
	計	31.9	—	—	—	—	—	31.9	—	—	—	—	31.9	
合計		31.9	—	—	—	—	—	31.9	—	—	—	—	31.9	

4 土地所有の状況

(令和7年12月現在) (第4表-3)

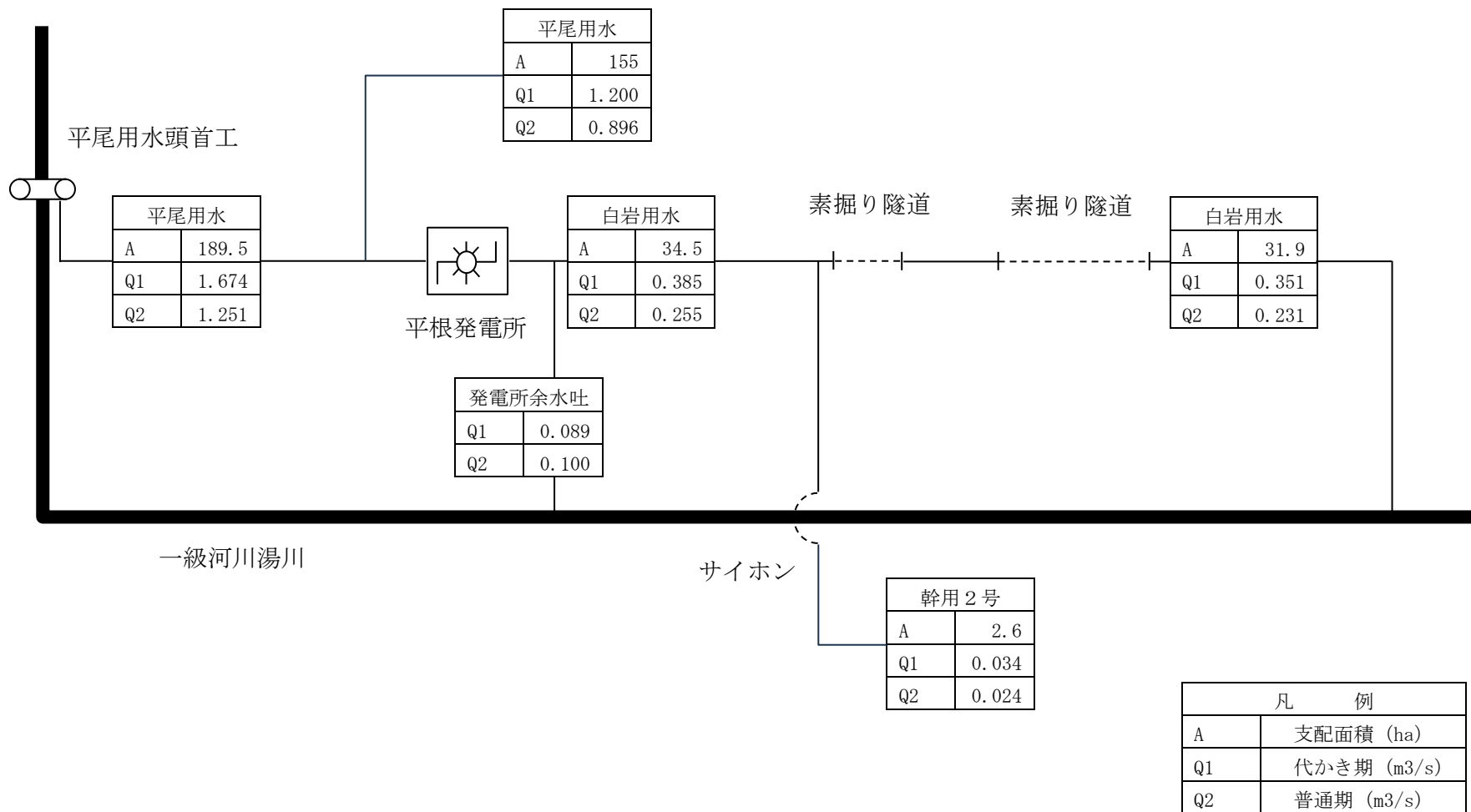
事業名	所有別	個人所有	法人所有	市町村有	国有	計	備考
	区分						
農業用排水施設の変更	面積 (ha)	31.9	—	—	—	31.9	
	受益者数 (人)	128	—	—	—	128	
	筆数 (筆)	256	—	—	—	256	
	権利関係	所有権	—	—	—		
	備考 (関係戸数)	128	—	—	—	128	
合計	面積 (ha)	31.9	—	—	—	31.9	
	受益者数 (人)	128	—	—	—	128	
	筆数 (筆)	256	—	—	—	256	
	権利関係	所有権	—	—	—		
	備考 (関係戸数)	128	—	—	—	128	

第3節 水利状況

1 用水状況

一級河川湯川から取水した用水は平根発電所の上流で一部分水し、31.9haの水田をかんがいしている。

(1) 用水系統



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		許可水利権		慣行水利権等		延べ取水量	備考
		500ha以上		500～100ha		100ha未満		箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農業用排水施設の変更	貯水池														
	井堰			1	189.5			1	189.5	1	1.674			1.674	
	自然取入口														
	揚水機														
	用水路			1	189.5 (189.5)			1	189.5 (189.5)	1	1.674			1.674	() 書きは井堰と重複分を内数で記載
	その他														
	計			1	189.5			1	189.5	1	1.674			1.674	
合計			1	189.5			1	189.5	1	1.674			1.674		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年度 又は 更新年度	改修を必要 とする理由	備 考
	施設名							
農業 用 排 水 施 設 の 変 更	貯 水 池							
	井 堰							
	自然取入口							
	揚 水 機							
	用 水 路	白岩用水	31.9	隧道	L=180m	1600年代	隧道落盤による被害未然防止	
	そ の 他							
	計							
合 計			31.9					

2 排水状況

白岩用水は、大雨などの緊急時には平根発電所下流にある余水吐により一級河川湯川へ排水する。受益地内の排水は、ほ場内の排水路により一級河川湯川へ排水される。

3 河川状況

事業箇所近傍を流れる湯川は、その水源を浅間山から鼻曲山付近の山嶺に発し、軽井沢町、御代田町の浅間山麓を南西に流れ佐久市内で千曲川に合流する延長約36km、流域面積177km²の一級河川である。

事業箇所に隣接する区間の河川幅は約40mと狭く、河床勾配は約1/50と急流である。右岸側は間知ブロックにより護岸が形成されているが左岸側は自然護岸となっており、切り立った崖の形状をしている。左岸側からの落石が河川内に多く見られ、降雨による洪水時には上流から流下してきた土砂や流木が堆積する。

第4節 道路概況

1 道路概況

受益地内の農道は整備済みであり、受益地周囲の市道や主要地方道に接続される。

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 採石業 砂利採取業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給水道業 (人)	運輸 通信業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金融業 保険業 (人)	不動産業 物品賃貸業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
佐久市	46,844	3,508	156	24	16	3,519	9,601	239	1,737	6,255	675	587	17,960	1,534	1,033	令和2年国勢調査
計	46,844	3,508	156	24	16	3,519	9,601	239	1,737	6,255	675	587	17,960	1,534	1,033	
比率 (%)	100	7	0	0	0	8	21	1	4	13	2	1	38	3	2	

2 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数

(第7表-2)

区分 総 農 家 数 市町村名	(戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						主副業別農家数 (戸)			備考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自給的農家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	主 業	準 主 業	副 業	
佐久市	6,074	58	916	1,152	281	88	74	58	59	33	19	3,336	1.0	0.5	0.4	1.9	1.9	3.8	306	315	2,076	2020農業センサ ス
計	6,074	58	916	1,152	281	88	74	58	59	33	19	3,336	1.0	0.5	0.4	1.9	1.9	3.8	306	315	2,076	
比率 (%)	100	1	15	19	5	1	1	1	1	1	0	55										

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具						主要家畜						備考
	トラクター		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		採卵鶏		
	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	
佐久市	3,138	2,561	2,188	2,110	592	557	617	16	x	17	941	4	動力農機具は2015農業センサス 動力農機具を除き2020農業センサス 「x」は秘密保護上統計数値を公表し ないもの。
計	3,138	2,561	2,188	2,110	592	557	617	16	x	17	941	4	
100経営体 当たり数量 (台、頭)	122		103		106		3,856				23,525		
所有経営体数 割合 (%)	42		34		2								

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		佐久市				計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積 (ha)		6,210				6,210	6,210		
総本地面積 (ha)		5,618				5,618	5,618		
区分 作物名		作付面積 (ha)	単位面積当り 収量 (kg/10a)			作付面積 (ha)	単位面積当り 収量 (kg/10a)		
田	表作	稲	2,014			2,014		75%	R6作付調査 R2農業センサス 作付面積は、経営 耕地面積のうち販 売目的で作付け (栽培)した作物 の類別作付(栽 培)面積である。 「x」は秘密保護 上統計数値を公表 しないもの
	裏作								
	小計		2,014			2,014		75%	
畑	野菜類		552			552		20%	
	豆類		28			28		1%	
	小計		580			580		21%	
樹園地	果樹類		100			100		4%	
	花き類・花木		x			x		x	
	小計		100			100		4%	
計		2,694			2,694		100%		
市町村別延べ 作付け率 (%)									

5 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家						土 地			主要作物			動力農機具			主要家畜			その他	地域 指定等	備考
	B	A	経営耕地 規模	B	A		B	A	作物名	B	A	農機具名	B	A	家畜名	B	A				
変化の 状況 (C年を 100と する指 数)	総農家数	80	60	0.5ha未満	81	66	耕地	90	90	稲	81	86	動力田植 機	77	—	乳用牛	76	65	特定農山 村 (H5) 振興山村 (S46) 農業振興 地域 (H17)	A: 令和2年 (農林業センサス) B: 平成27年 (農林業センサス) C: 平成22年 (農林業センサス) 「x」は秘密保護上 統計数値を公表しな いもの。	
	主業農家数	77	60	0.5ha~ 1.5ha	77	54	田	90	100	野菜類	95	113	トラクタ ー	83	—	肉用牛	x	x			
	準主業 農家数	57	33	1.5ha ~ 3.0ha	105	73	畑	90	90	花き類・ 花木	65	58	コンバイ ン	85	—	採鶏卵	85	106			
	副業的 農家数	88	70	3.0ha ~ 10.0ha	86	89	樹園地	84	84	果樹類	—	68									
	農業 就業人口	90	77	10.0ha以上	117	148															
変化の 理由	農家の高齢化、担い手不足により農業に携わる人口が減少している。都市部とのアクセス向上により、人口の流出が大きい。		市場における需要の変化や農業機械の大型化、農業生産基盤の改良が進み、大区画化した農地での営農が盛んとなっている。			農家の高齢化、担い手不足により農業に携わる人口が減少している。			農家の高齢化、担い手不足により減少傾向にある。収益性の高い野菜類は、生産基盤の改良が進んだことなどにより増加傾向にある。			作業受託の増加や機械の共同利用、農地が担い手に集積されることにより、保有台数が減少している。			酪農家の高齢化や担い手不足に加え、需要の減少や飼料価格の高騰などが減少の原因と考えられる。						

第6節 地域環境の概況

佐久市は長野県の東部に位置し、佐久平と呼ばれる佐久盆地の中央部を占める。北に浅間山、南に八ヶ岳連峰を望み、蓼科山、双子山(八ヶ岳中信高原国定公園)、荒船山(妙義荒船佐久高原国定公園)に囲まれ、千曲川が南北に貫流する自然環境に恵まれた地域である。

面積は423.99km²で、市域は東西32.1km、南北23.1kmにおよび市役所の標高は692mである。気温の較差が大きく降水量が少ないなど、典型的な内陸性気候を示す高燥冷涼地である。特に年間を通して晴天率が高く、国内でも有数の日照時間が多い地域である。

植生は東部山地から西部山地の広い範囲を夏緑広葉樹林が占め、ミズナラが広く自生するとともに、一部でブナの生育が確認されている。標高が1,500m以上になると狭い範囲であるがカラマツといった針葉樹林が発達している。

また、本地域には国及び県レッドデータブックに登録されているオコジョやヤマネといった希少種が確認されており、他にも15種の猛禽類をはじめとした100種を超える鳥類などが生息している。とりわけ河川やため池といった水環境が多いことからアユやイwanaといった魚類の生息も多く確認されている。

佐久市農村環境計画では、本地区は、佐久平の原風景となる田園空間を保全していくため、原風景や生活環境、営農環境等との調和に配慮していく「田園と居住共生エリア」に設定されており、その中でも「優良農地保全ゾーン」に位置している。

千曲川、湯川、鹿曲川兩岸の平坦地を中心に豊かな水に恵まれていることから、水稻を中心とした栽培が行われている。丘陵地等ではリンゴ、モモ、ブルーベリー等の果実や、キク、カーネーション等の花き類、トマトやズッキーニ等の野菜類が栽培され、特にブルーベリーは日本発祥の地とされている。このように地域の特色を生かした農業生産が行われている一方で、農業就業者の減少、高齢化が進行し、遊休荒廃農地の増加といった課題がある。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本地区は佐久市の北東部に位置し、一級河川湯川から取水した用水が一部の区間で素掘りの隧道をとおり、31.9haの水田へかんがいしている。素掘りの隧道であるため大規模地震や局地的豪雨などが発生した場合、落盤により送電鉄塔、住宅及び農地等への被害が予想される。また、素掘り隧道の内部調査を行ったところ、内部で部分的な崩落を確認した。災害を未然に防止するための早急な対策が必要であるため、既存の素掘り隧道を閉塞し、新たな隧道を設けることで、地域住民の生命及び財産並びに社会インフラの保護を図るとともに、安定的な地域農業を維持する。

2 事業別面積

(第8表)

事業名	農業用排水施設の変更											計 (ha)	備 考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)		小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)		小計 (ha)		
農地防災	31.9					31.9						31.9	
計	31.9					31.9						31.9	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

本地区では従来から水稻栽培が行われており、担い手への集約を進めながら今後も水稻を中心とした営農計画により地域農業を維持していく。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	耕 地						採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)						
の排農 変水業 更施設 用	現況	31.9										31.9	
	計画	31.9										31.9	
計	現況	31.9										31.9	
	計画	31.9										31.9	

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積 当たり収量 増加	
	土地 利用区分																
農業用排水施設の変更	水田	表作	水稻	31.9	31.9	—	100	100	650	650	—	207	207	—	—	—	R1~R5作付調査
		裏作															
	普通畑	春夏作															
		秋冬作															
	計				31.9	31.9	—	100	100								
	合計				31.9	31.9	—	100	100								

第3節 用水計画

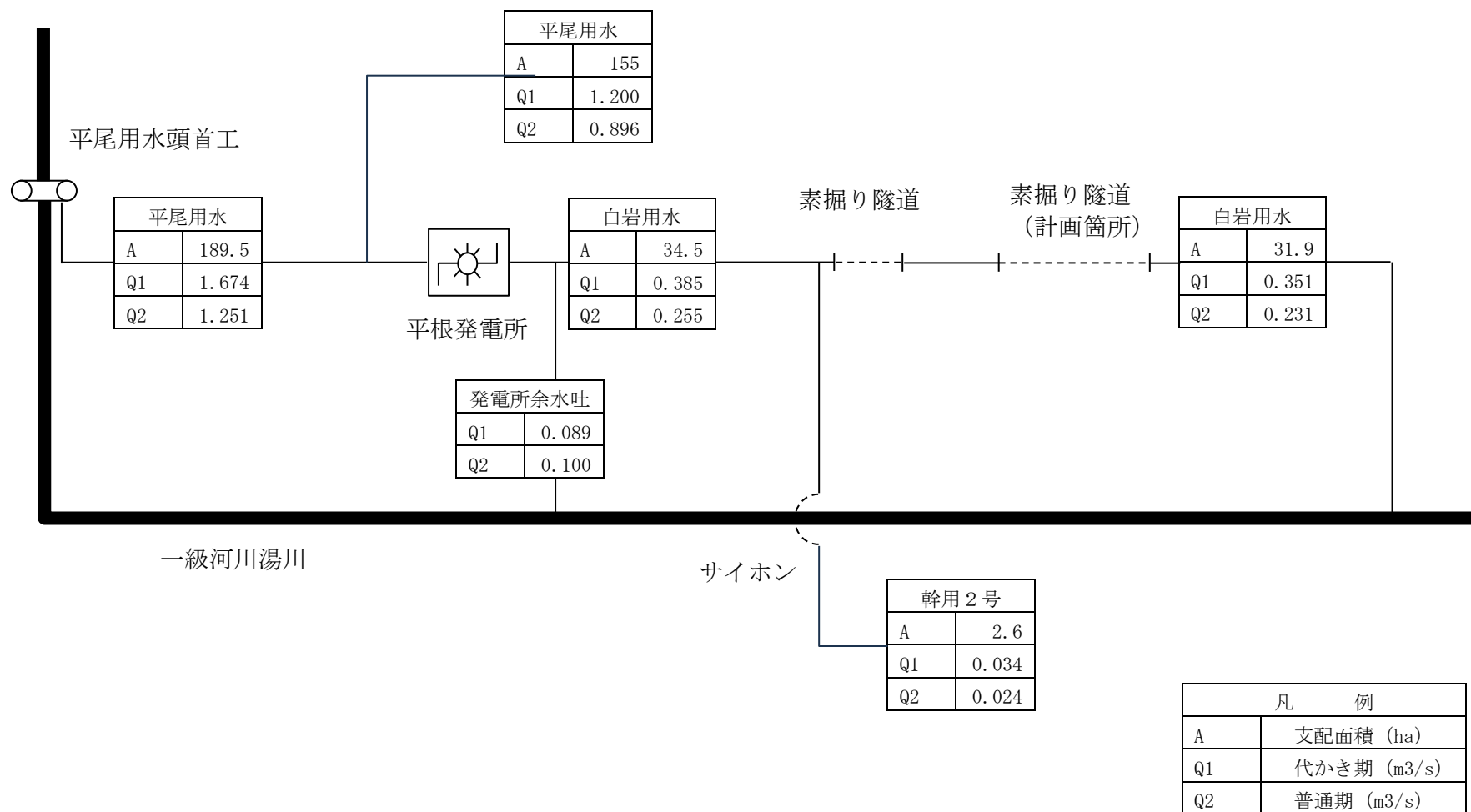
1 計画基準年

昭和54年（一級河川湯川 河川渇水量、1/10年確立）

2 計画かんがい方式

水田 水稻 : たん水かんがい かんがい期 5月上旬～9月中旬
(代かき期 5月上旬～5月中旬)

3 計画用水系統図



4 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量 (m^3/s)	損失率 (%)	粗用水量		備考	
		事業名		普通期 計画平均 単 位 用水量 (mm/日)	代かき期 計 画 代かき 用水量 (mm)	面積 (ha)	一 日 当たり 計 画 平均 かん 水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	一 日 当たり 計 画 平均 かん 水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	計 画 平均 単 位 用水量 (mm/日)	面積 (ha)			平均	最大		
		計	計																	平均
白岩用水	農業用 水	31.9		31.9	44.8	150	31.9								(0.554) 0.165	15	0.231	0.351	() 書きは最大	
計		31.9		31.9			31.9													

5 水源計画

(1) 水利用計画

有効降雨 水田（水稻） : 5mm/日~80mm/日の80%

TRAM : -

間断日数 : -

かんがい効率 水田（水稻） : 85% たん水かんがい

(第10表-2)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
農業用 用排水	既水田か んがい	2,190	110	2,080	2,450	河川	13,660	2,450	-	-	-	-	損失率 : α
計		2,190	110	2,080	2,450		13,660	2,450	-	-	-	-	$\alpha=15\%$

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なし

(ウ) 揚水機

該当なし

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名						
	農業用排水施設の変更		計				
白岩用水	31.9		31.9	0.351	0.21	隧道	
計	31.9		31.9		0.21		

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

- 1 貯水池
該当なし
- 2 頭首工
該当なし
- 3 揚水機
該当なし
- 4 用水路

(第16表-4)

水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	農業用排水施設 の変更	計								
白岩用水	31.9	31.9	0.351		0.21	0.21	ヒューム管 φ800mm	1/241		
計	31.9	31.9			0.21	0.21				

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和 8年度

完了 令和 12年度

第8章 環境との調和への配慮

- ・本地区は佐久市北東部に位置し、従来から湯川の周辺に水稲を中心とした豊かな田園が広がる。人々と自然が共生するなかで築かれてきた農村地域であり、営農活動との共存による自然豊かな土地利用の推進と、景観及び動植物の保全に努める必要がある。
- ・現時点で保全すべき生物は確認されていないが、工事実施中に配慮すべき生物、植物を発見した場合は、速やかに影響外へ移動させ、施工後、必要に応じて元に戻す。
- ・工事箇所付近に河川が流れているため、工事による濁水や油脂類、素掘り隧道の閉塞に使用する材料等の流出防止に努める。
- ・地域外から土砂を搬入する場合、アレチウリやセイタカアワダチソウ等の外来植物種の種子混入に留意する。
- ・現場で使用する工事用車両は、排気ガス対策型・低騒音型とし、集落付近を通過する際には低速走行するなど、地域環境に配慮する。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第24表)

区分	事業名	農業用排水施設 の変更 (千円)	(千円)	(千円)	計 (千円)	備 考
	主要工事	500,000			500,000	R7年度単価
	附帯工事					
	計	500,000			500,000	
関連事業 (参考)						

第11章 効用

(第25表)

事業名	項目 区分	年総効果（便益）額 （千円）	現況年総農業所得額 （千円）	年総増加農業所得額 （千円）	備 考
農業の持続的発展に関する効果	35,230	災害防止効果（農業資産）			
農村の振興に関する効果	7,780	災害防止効果（一般資産）			
多面的機能の発揮に関する効果	314,909	災害防止効果（公共資産）			
その他の効果	5,981	国産農産物安定供給効果			
計	363,573	R7年度単価			
合計	食料の安定供給の確保に関する効果	△327			
	農業の持続的発展に関する効果	35,230			
	農村の振興に関する効果	7,780			
	多面的機能の発揮に関する効果	314,909			
	その他の効果	5,981			
	計	363,573			R7年度単価

総費用 1,106,210（千円）
 総便益額 5,913,155（千円）
 総費用総便益比 5.34

第12章 関連する事業

該当なし

第13章 現況・計画図面

- 1 現況平面図
添付資料のとおり
- 2 計画平面図及び土地利用計画図
添付資料のとおり
- 3 主要構造図
添付資料のとおり

横根赤岩地区 現況・計画平面図 S=1/25000

JR北陸新幹線

計画路線
水路トンネル L=210m

受益面積 A=31.9ha

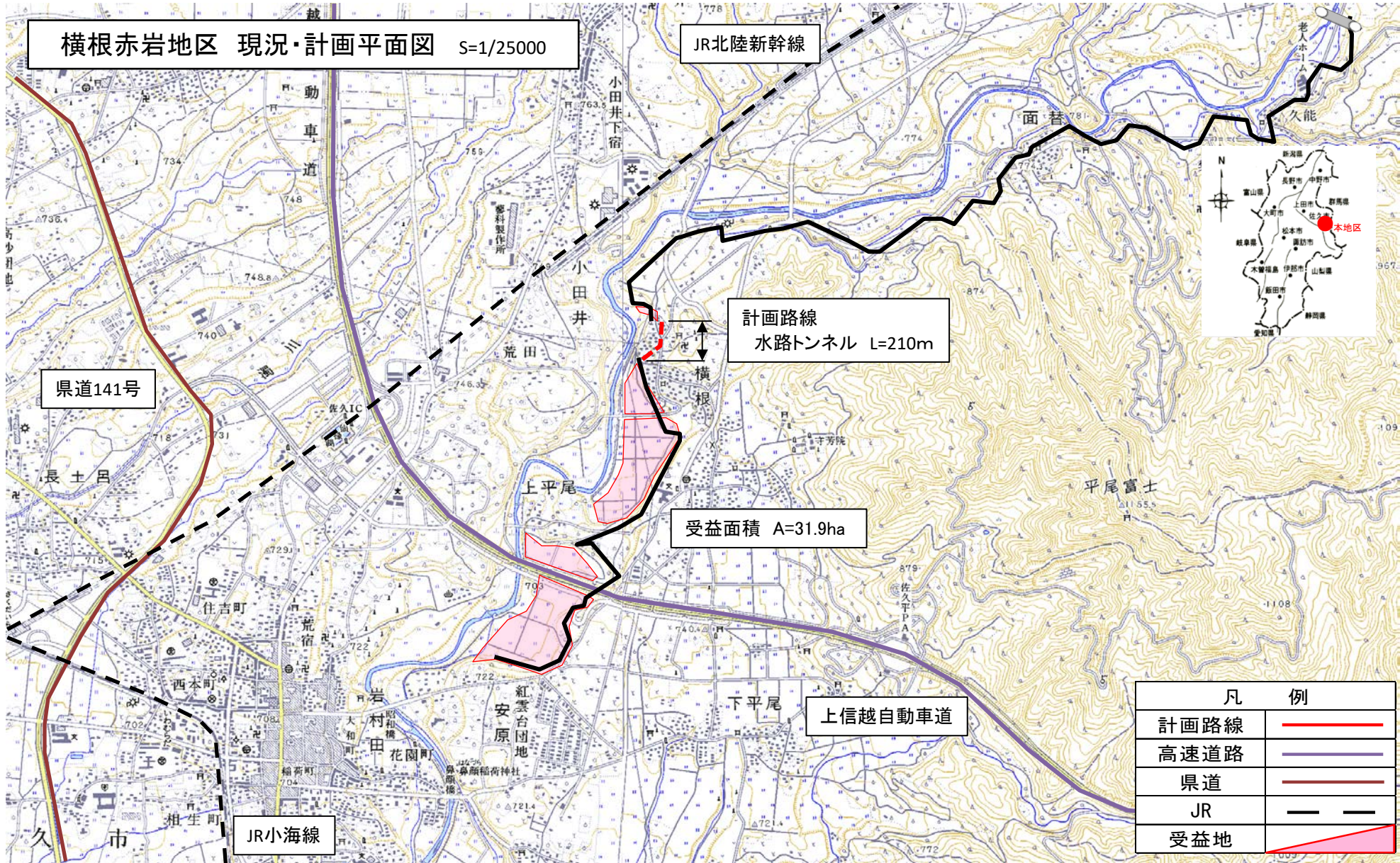
上信越自動車道

JR小海線

県道141号

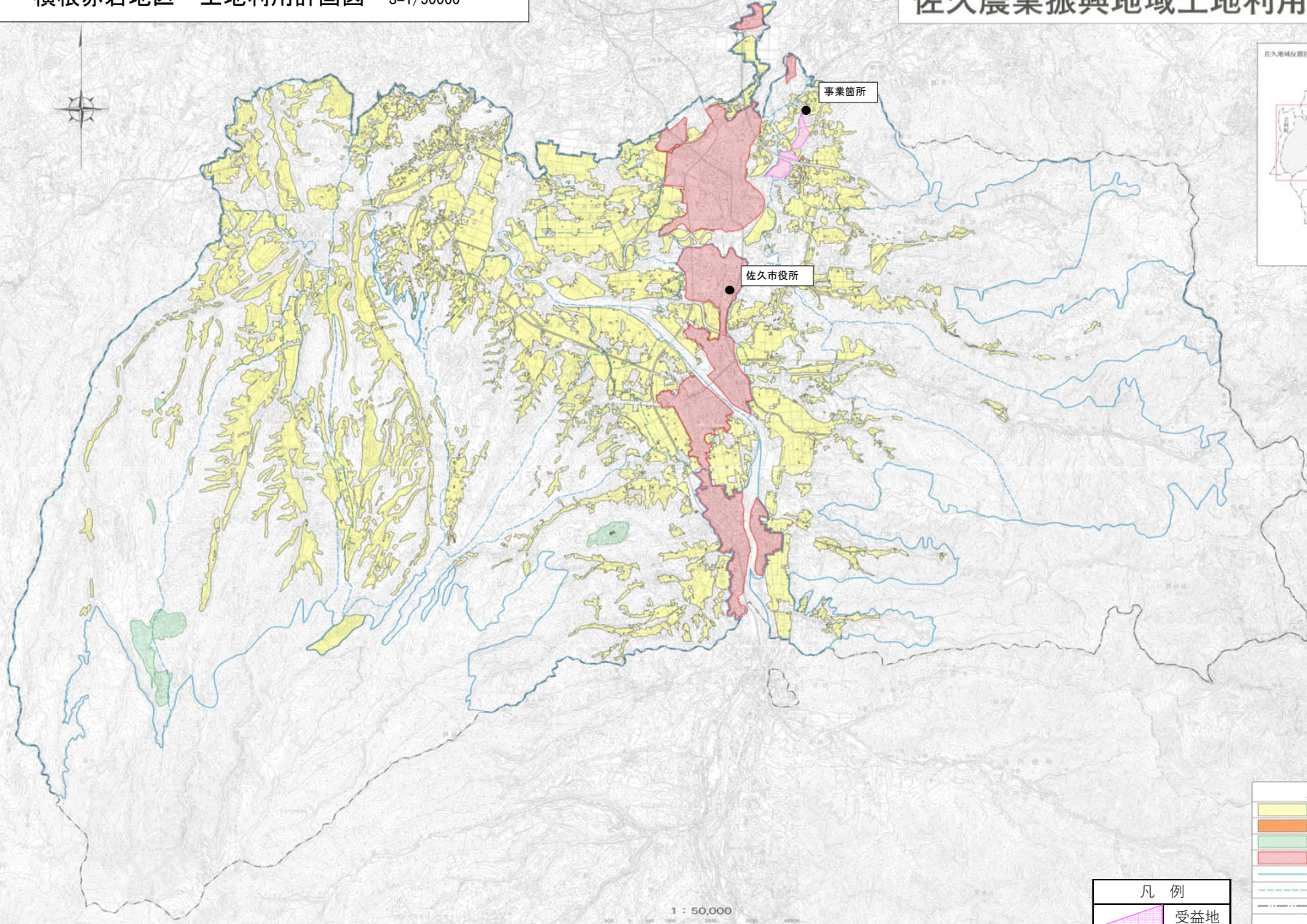


凡 例	
計画路線	
高速道路	
県道	
JR	
受益地	



横根赤岩地区 土地利用計画図 S=1/50000

佐久農業振興地域土地利用計画図



佐久市役所

事業箇所

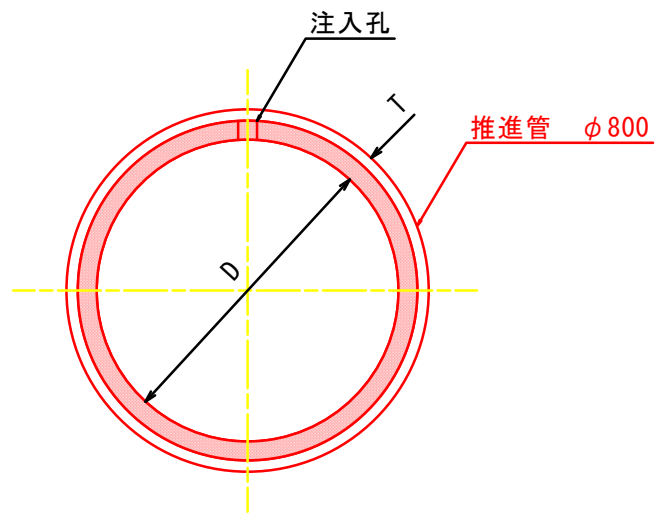
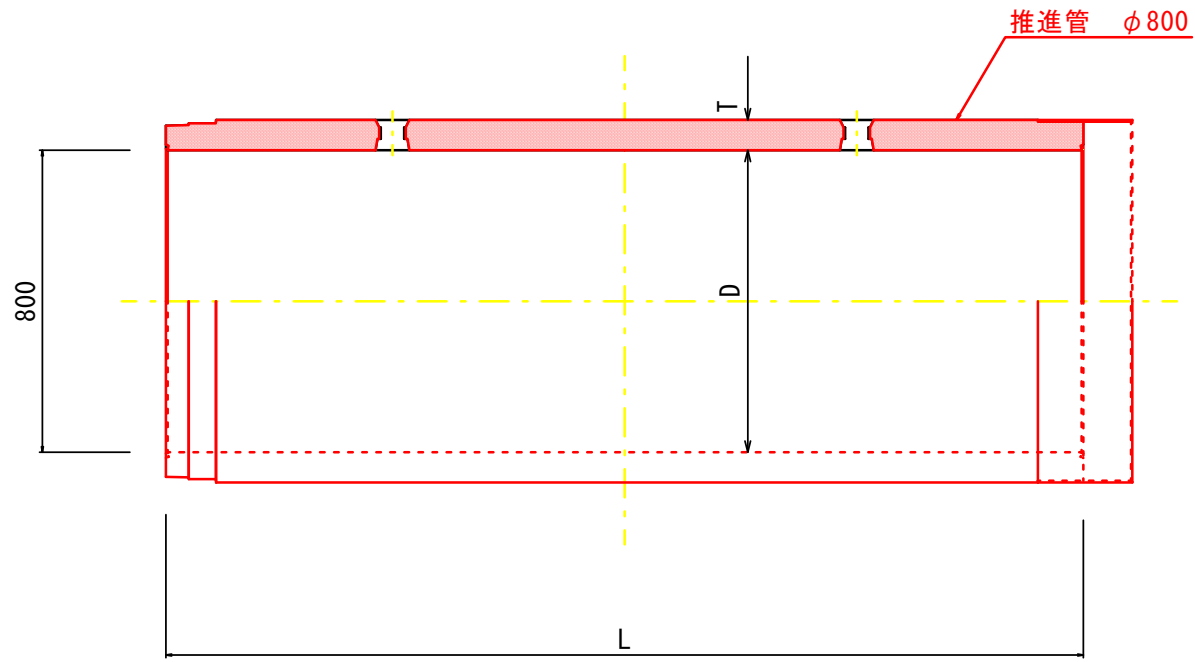
凡例	
	農用地
	農業用施設用地
	採草放牧地
	都市計画用途地域
	農業振興地域界
	地区界
	市町村界

凡例	
	受益地

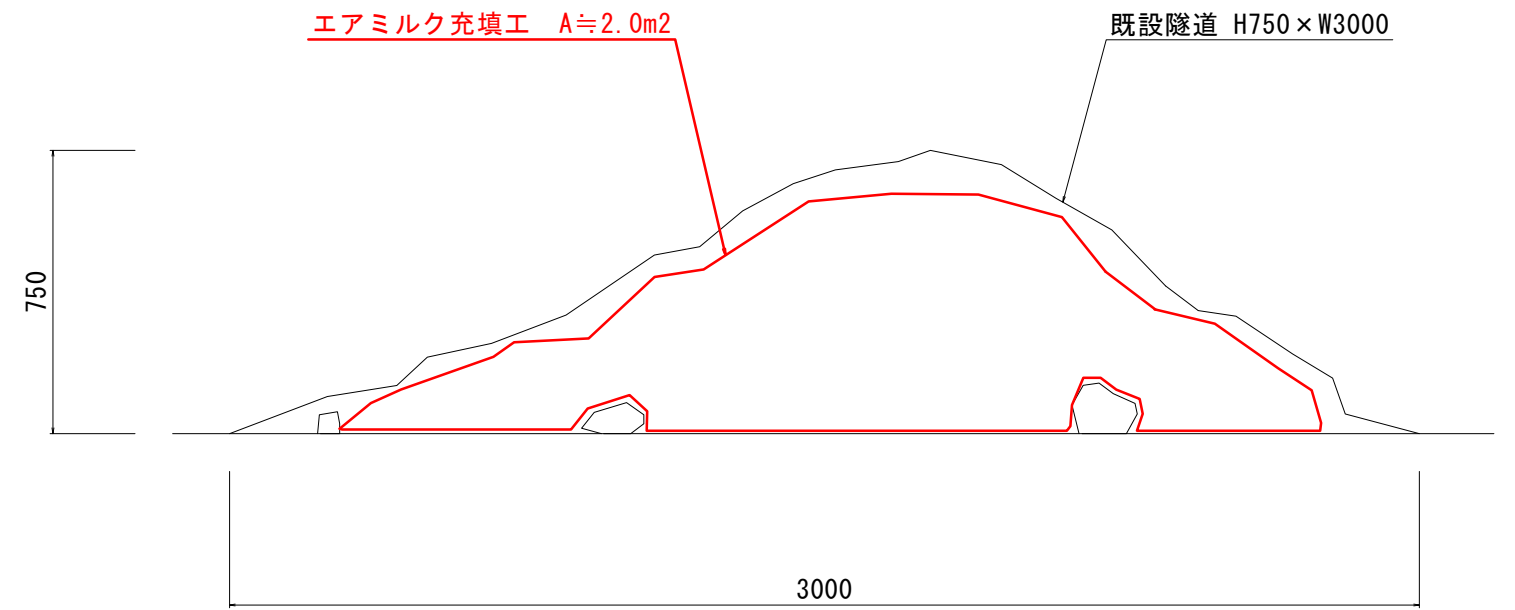


主要構造図 2

推進工標準断面図 S=1/10



閉塞工標準断面図 (参考) S=1/10



主要構造図 3 S=1/100

No. 1
GH1=729.82
GH2=712.23
FH =712.23

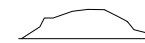
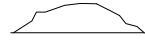
No. 2
GH1=733.52
GH2=712.14
FH =712.14

DL=725.00

DL=729.00

DL=715.00

DL=715.00



BP
GH1=717.71 (現況地盤高)
GH2=712.31 (現況水路高)
FH =712.31

DL=713.00

